

リハセンだより



第 57 号

【認知症病棟の紹介】

認知症の初期から重度まで、あらゆる症状を呈する患者を対象に、磁気共鳴断層撮影装置 (MRI) や核医学検査 (SPECT)、心理検査などによる精査・診断・早期治療と、入院早期から認知症リハビリテーション (集団作業療法・小集団活動・回想法) を行っています。

また、様々な心理・行動病状を呈する患者さんに対し、安全で個別性のある看護支援と家族指導を行っています。

〈主な取組み〉

- 疾患の特性を理解し、多様な心理・行動症状に対して肯定的な態度で接し、話題や気分転換を図っています。
- 認知症患者の急性及び重篤な身体疾患に対して、予測性を持った観察と判断力で適切な処置を行い、病状の進行の予防に努めています。

○精神作業療法士と連携して集団療法・病棟行事・レクリエーション・散歩などを積極的に行い、残存機能を活かすようリハビリテーション的アプローチを心掛けています。

○介護福祉士が中心となり、アクティビティケアを通して、心身の機能の維持・向上と活気ある日常生活の提供に努めています。

○身体障害や日常生活能力に障害がある患者の事故防止のための安全対策と環境整備に努めています。

○個々の生活背景・残存機能の評価による看護支援と家族指導を行っています。

○入院患者の家族向けに認知症介護講座を開催し、認知症の症状別対応の仕方や利用可能な福祉サービスの紹介、認知症リハビリテーションの実際の紹介などを行っています。



病棟内のアクティビティ作品・作業の写真

2 病棟の紹介

2 病棟は、病床数 30 床で男女混合の精神科閉鎖病棟です。

統合失調症や認知症、躁うつ病、うつ病、高次脳機能障害、てんかん等多様な病状の患者さんが入院しており、年齢層も思春期から高齢の方まで様々です。

看護師は他職種と連携を図りながら、個々の患者さんに合った支援を充実させるため、カンファレンスを行い情報交換したり、作業療法や SST、病棟レクリエーション等を通して基本的な日常生活場面での指導や、対人関係、集中・協調性を向上させるような支援を行っています。また、患者家族参画型看護計画を行い、患者さんやそのご家族と目標を共有した看護の実践に努めています。

病棟スタッフは明るく熱心です。患者さんがより良い状態に回復し、社会復帰できるように一生懸命頑張っています。



第 8 回認知症ケアシリーズ「講演会」

平成 27 年 7 月 10 日（金）にリハビリテーション・精神医療センター講堂にて第 8 回認知症ケアシリーズ「講演会」を開催しました。

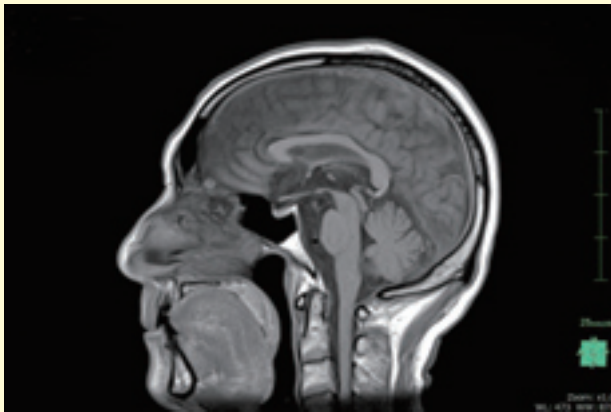
当講演会は、県内の介護施設職員を対象として、当センターの取組み紹介と問題点の共有を図ることを目的とし、認知症医療における地域との連携強化のため毎年開催しているものです。

今回は特にテーマは設けず、認知症の行動・心理症状やケアの方法、「だいせん支えあい手帳（地域連携パス）」について、医師、看護師、精神保健福祉士による講演を行い、県内の施設職員 173 名の参加がありました。研修会後のアンケートでは「受診拒否があり、医療機関へ連れて行けない」「かかりつけ医へ相談しても、歳のせいだからと言われ専門医へ繋げてもらえない」等の意見があり、専門医療機関としてかかりつけ医との更なる連携の強化を図っていく必要があることなど、今後の研修会の企画や連携を図っていく上での問題点を共有する良い機会になったと思います。



放射線科**MRI 検査とは…**

強力な磁石でできた筒の中に入り、磁気の力と電波を利用して体の様々な臓器や血管を撮像する検査です。特徴としては様々な角度からの断面を画像にすることができことや、X 線を使いませんので、放射線被ばくの心配がなく検査を繰り返し行うことができます。CT 画像と似ていますが、MRI 画像は組織や病変との濃度差がはっきりとするため病変部を見つけやすくなります。検査中に痛みはまったくありませんが、検査時間は約 30 分と長く、撮像中は大きな音も聞こえます。注意としては強い磁力を検査で使用するため、心臓ペースメーカーを埋め込んでいる方、あるいは手術等で体内に金属が入っている方は金属の材質により検査が受けられないことがあります。

**検査科****脳波検査とは…**

人間の脳は、考えている時だけでなく眠っている時にも活動しています。脳が活動すると、脳の中には微弱な電気が流れます。その脳細胞の電気的変化を頭皮上に付けた電極から取り入れ、記録して脳神経の働きを調べる検査です。けいれん、軽い意識障害、てんかんが疑われるときなどに行われ、脳腫瘍の診断にも有用で、脳死判定の際にも用いられています。

検査は、まずベッドに仰向けに寝て、頭に数十個の電極をペーストで取り付けます。安静状態にて開閉眼、深呼吸、光刺激を与えながら検査を進めていきます。また、睡眠中の脳波を測定することもあります。脳の電気活動を電極から取り入れているのであって、こちらから電気刺激を与えている検査ではないので、危険性はありません。当センターでは検査時間は準備を含めて約 1 時間前後です。検査結果は頭部 CT、MRI の結果と併せて診断されることもあり、脳腫瘍やけがによる脳障害であれば CT に映りますが、てんかんであれば CT に異常はみられません。よく訊かれますが、頭が良いか悪いかや、夢の中身までは分かりません。



機能訓練部の紹介

理学療法室

新しいロボットスーツ HAL® を導入しました。

当センターでは 2012 年 5 月より HAL® 福祉用を導入し、主に脳卒中や脊髄損傷で足に麻痺がある方やパーキンソン病などで動きにくい方に対し、適応がある場合に起立練習や歩行練習を行ってきました。

2015 年 7 月より、新しいロボットスーツ HAL® 自立支援下肢タイプを導入し利用しておりますので、従来の HAL® から改良された点をいくつかご紹介いたします。

- ▶ 脚の長さや腰幅を装着者のサイズに合わせやすくなり、無段階の調整が可能となったことで装着時の違和感が少なくなりました。



- ▶ 従来は離れた所からパソコン画面で確認・調整しなければならなかったが、手元のコントローラーで調整が可能になりました。

- ▶ アシストレベルの調節幅が拡大し、微調整ができるようになったことで、筋力が弱くて今まで十分なアシストを受けられなかった方でも調整が可能となりました。

以上の改良点から装着者の動きに合わせた動きが可能となったことで、股関節や膝関節の動きが滑らかになり、ロボットが重く腰に当たって痛いといったことが少なくなりました。

作業療法室

作業療法部門では、いろいろな作業を通して対象者の健康や社会参加を促進する働きかけを行っており、運動機能だけでなく、身の回りのこと、仕事、遊び、休息など個人にとって大事な行為に対しての治療や援助を行っています。

そのうちの一つの取り組みとして、自動車運転シミュレーターを用いた自動車運転検査があります。近年、高齢者の自動車運転による事故がマスコミに取り上げられ、疾患の有無に関わらず自動車運転の安全性について大きな関心事となっています。当センターでは自動車免許センターと情報交換を取りながら、入院や外来で記憶や注意力の検査や自動車シミュレーターを使用した模擬運転などの自動車運転検査を行っています。

また、このような取り組みだけでなく、今後も時代に沿った作業療法が提供できるように日頃から研鑽を積み、対象となる皆様へのサービス向上に努めていきます。



言語聴覚療法室

私たち言語聴覚士（S T）は、脳卒中や脳外傷、認知症その他の進行性疾患を原因として生じる①失語症（聞く、話す、読む、書く、計算の障害）、②発声構音障害（運動障害による発声や発音の困難）、③摂食嚥下障害（食べ物の取り込み－咀嚼・食塊形成－移送の障害）、④記憶障害、高次脳機能障害について、評価と治療を行っています。また⑤難聴については、専門の S T が耳鼻科医師の指示のもと詳細な検査を行い、補聴器適用の場合には試用を経て購入までの支援を行います。ハイテク・ローテクな訓練材料や代替手段もどんどん導入しています。

高齢人口の更なる増加、学習障害など学校教育への支援要請など、S T に対する社会的ニーズは徐々に高

まっており、それに応えるべく専門性のスキルアップ・パワーアップを図ってまいりますので、どうぞよろしくお願いします。



臨床心理室

臨床心理室では、入院・外来患者様を対象に臨床心理士が主に心理検査や心理療法を行っています。

- (1) リハビリテーション科では、高次脳機能障害の精査を中心に行っていますが、最近では心理療法の要望も増えて来ています。
- (2) 認知症に関するものとしては、もの忘れ外来で認知機能検査を行ったり、認知症病棟で検査以外に小グループで昔語りをする回想法「おはなしの会」を楽しんだりしています。また、認知症疾患医療センタースタッフとして、各種研修会の企画・運営、病棟の回想法の講義や見学対応、外部連携機関での出張講義なども行っています。
- (3) 精神科では、鑑別診断や今後の治療に役立てるための知能検査や性格検査、心理療法を行っています。また、病棟では総合失調症の患者様に対し小グループで服薬教室を実施し（看護師、作業療法士、薬剤師と協同）、再発防止を目指しているほか、ショートケアのプログラム（喫茶カモミール）にも協力しています。

すべての業務において、医師をはじめ看護師や訓練士等のスタッフとの連携を大切にし、患者様の幅広いご要望にお応えできるよう研鑽に努めております。



＊当センターの受診予約・入院申込みについて

当センターのリハビリテーション科、精神科、放射線科、もの忘れ外来は全て予約制になっております。現在受診している医療機関がある場合は紹介状をご準備いただき診療予約をしたうえで来院して下さい。

また、当センターでは FAX による入院予約申込み（リハビリテーション科のみ）も受付けております。初めて FAX による入院予約を希望される場合は「医療相談連携室」までご相談下さい。

（外来受診・FAX 入院予約に関する申し込み・問い合わせ先）

018-892-3751（代表） 医療相談連携室まで

＊リハセン脳ドック

脳と生活習慣病予防ドックを兼ねた健診を行います。

健診とその検査結果の説明は同日中に担当医から行われます。

検査日：毎週金曜日（予約制）

午前 8 時 30 分～午後 0 時 30 分

脳ドックのご予約、費用などのお問い合わせは

018-892-3751（代表） 医事課まで

検査内容

血圧測定、体組成形（身長、体重、BMI）、腹囲測定、握力測定、尿検査、血液検査、胸部 X 線撮影、頭部 MRI、安静心電図、血圧脈派、頸部エコー

外来診療担当表

外来診療受付時間

午前 8:30～11:00



●リハビリテーション科外来診療担当表

	月	火	水	木	金
新 患	—	—	—	横山 絵里子 荒巻 晋治	—
再 来	荒巻 晋治	佐山 一郎 横山 絵里子	横山 絵里子	—	—

●もの忘れ外来・高次脳機能障害外来診療担当表

	月	火	水	木	金
新 患	佐藤 隆郎	佐藤 純一	佐藤 隆郎	下村 辰雄	兼子 義彦 向井 長弘 (隔週)
再 来	—	下村 辰雄	下村 辰雄	佐藤 純一	—
高次脳機能障害外来	—	—	—	—	下村 辰雄

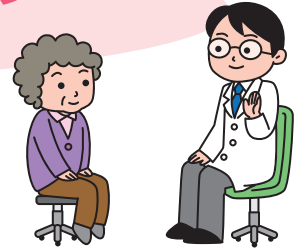
●精神科外来診療担当表

	月	火	水	木	金
新 患	向井 長弘	須田 秀可	小畑 信彦	伏見 雅人	倉田 晋
	鎮西 祐美			兼子 義彦 佐々木 倫子	
再 来 1	倉田 晋	小畑 信彦	兼子 義彦	倉田 晋	小畑 信彦
再 来 2	須田 秀可	佐藤 隆郎	須田 秀可	向井 長弘	兼子 義彦(隔週)
再 来 3	佐々木 倫子	向井 長弘	鎮西 祐美	鎮西 祐美	佐々木 倫子

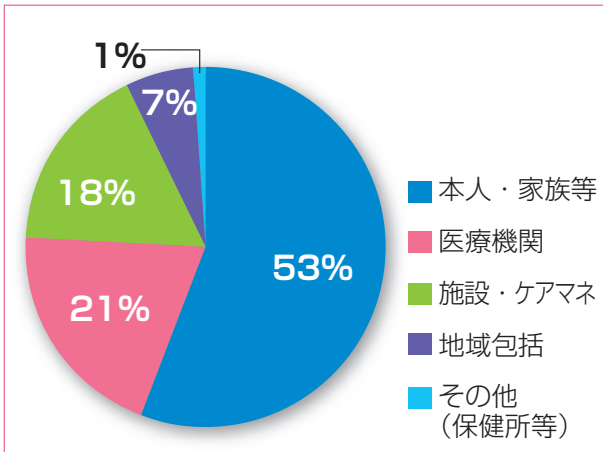
秋田県認知症疾患医療センター 平成26年度相談状況

相談件数 — 1,102件

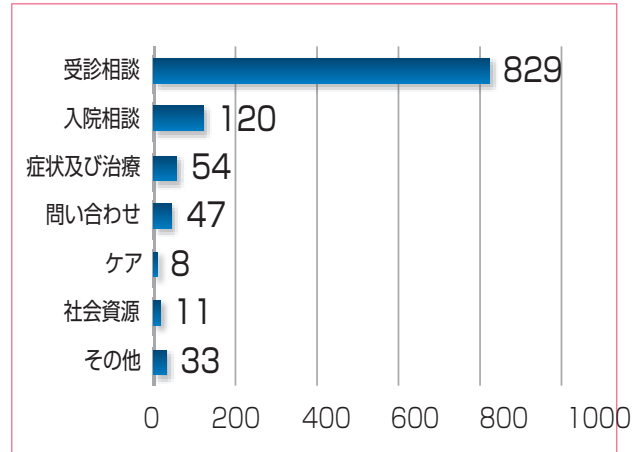
(内 電話—896件、面接—53件、FAX予約—156件)



1) 相談元



2) 相談内容



だいせん支えあい手帳（地域連携パス）

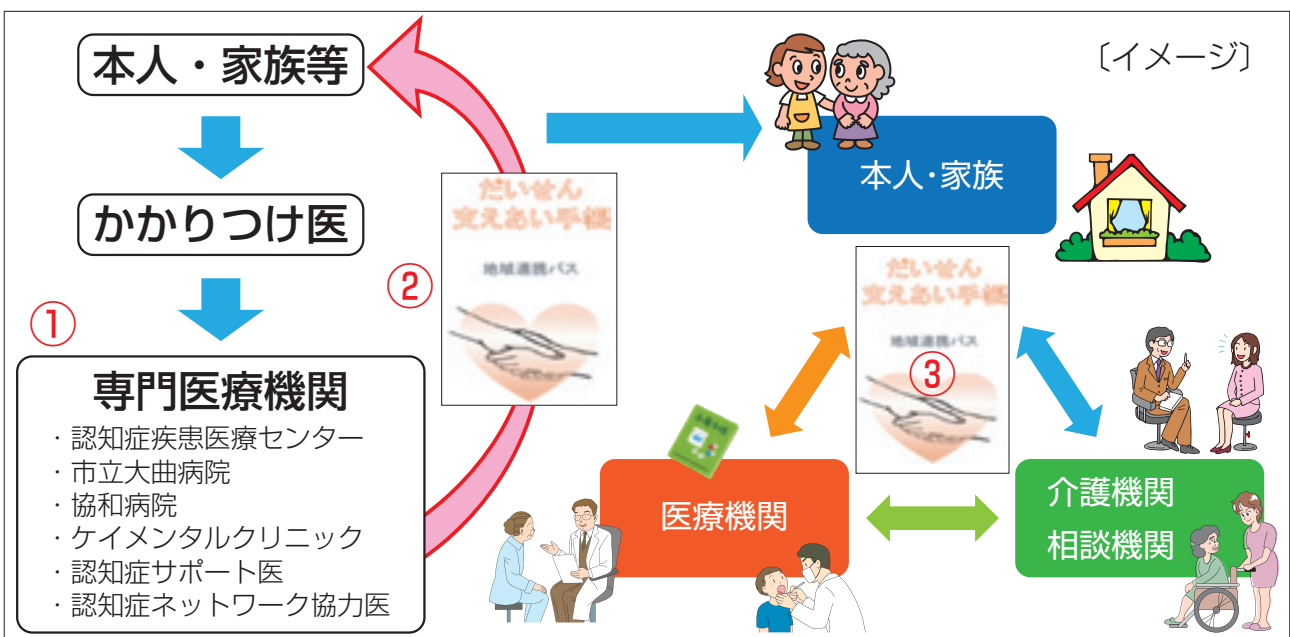


平成 27 年 4 月より大仙地域にて試験運用しています。

この手帳は、認知症患者の症状の経過や服薬状況等の情報を、本人・家族、かかりつけ医、専門医療機関、介護保険サービス機関等で情報を共有・連携し円滑な治療や介護を行うためのものです。

【流れ】

- ①本人やご家族がかかりつけ医や精神科などの専門医療機関を受診し認知症と診断された場合、この手帳が医療機関から発行されます。医療機関で、ご本人やご家族から手帳の運用について同意を得ます。
- ②ご家族が、その手帳に健康状態や認知症の症状、日々の生活の様子等を記載し、医療機関を受診する時や介護サービスを利用する時にこの手帳を使用します。
- ③いろいろなサービス機関において、同じ事を何度も聞かれたりお話しなくても、この手帳を利用することで、ご本人の日々の様子に関係機関で共有することができます。





秋田県立リハビリテーション・精神医療センター(リハセン)

秋田市からは車が便利!!

秋田中央IC～(協和IC経由)～病院玄関まで17分以内



●電車とバスでリハセンに来るには

平成27年4月現在



1. JR 奥羽本線、羽後境駅で下車。
2. 徒歩で羽後交通境営業所に向かいます。(約3分)
3. 羽後交通境営業所から淀川線でリハセン経由「福部羅行き」に乗ります。
4. 羽後交通境営業所からリハセンまで約10分。リハセン玄関前のバス停で下車。



バス時刻表 (平成27年4月1日現在)

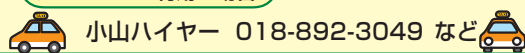
淀川線 (境～協和小学校～リハビリセンター～中逢田～下川口～福部羅)			
境 営業所	リハビリセンター	リハビリセンター	境 営業所
発	着	発	発
8:10	8:20	—	7:52
9:10	9:20	—	7:52
10:20	10:30	9:18	9:28
▲ 11:14	▲ 11:30	9:25	9:35
12:20	12:36	11:28	11:38
▲ 14:15	▲ 14:31	12:28	12:44
15:15	15:31	13:36	13:46
16:15	▲ 16:31	15:36	15:46
17:20	—	16:36	16:46
▲ 18:34	—	17:36	17:46
—	—	18:36	18:46

▲印は日曜日・祝日運休

所要時間と料金

JR上り	JR下り	バス
秋田駅～羽後境駅 約25分 運賃500円	大曲駅～羽後境駅 約24分 運賃410円	境営業所～リハセン前 約10分 運賃320円

タクシーをご利用の場合



小山ハイヤー 018-892-3049 など

秋田県立リハビリテーション・精神医療センター診療情報

診療科目：リハビリテーション科、精神科、放射線科
診療日：月～金(祝日・12月29日から1月3日を除く)
受付時間：午前8:30から11:00まで

病床数：一般病床:50床、療養病床:50床、精神病床:200床

●センターの特徴：365日毎日リハビリ訓練
脳ドック・物忘れ外来・精神科ショートケア
画像診断(CT・MRI・SPECT)
日本医療機能評価機構認定

電話相談のご案内

リハセンへの受診や入院に関することについて、
電話での相談に応じております。
お気軽にどうぞ。 電話 018-892-3751

発行

秋田県立リハビリテーション・
精神医療センター

〒019-2413

秋田県大仙市協和上淀川字五百刈田 352

発行責任者 小畑 信彦